

道連ニュース

2023年4月号 No.196

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

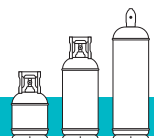
こくみん共済coop北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

エネ庁、無償貸与で液石法改正を示唆！！

～北海道生協連は、WGで「北大生協など調査報告と商慣行是正提言」をテーマとして報告～



3月2日、資源エネルギー庁主催の液化石油ガス流通WG（ワーキンググループ）が、7年振りに再開され商慣行是正に向けた論議がスタートしましたので報告します。

このWGは、2016年に「取引適正化と料金の透明化の促進等」を審議し、省令改正と取引適正化ガイドラインを公表した前回のWGの再稼働として位置づけられ、今回は内山隆青山学院大学教授が座長に就任し「無償配管・無償貸与」を背景とした商慣行で、消費者が不利益を被っている現状を是正し、LPガス料金の透明化に資する取引適正化に向けた今後の方向性を示す」ことを目的として開催されました。

WG再開の背景と行政・業界の危機意識

この間消費者団体などが主張してきた2016年の省令改正とガイドライン制定後も「過大投資強要とその受け入れ状況」は、益々エスカレートし取引適正化と料金透明化は進んでいない。特に賃貸集合住宅の状況は深刻で、同一地域での業者間格差約2.2倍や同じ地域での同一業者内価格が多数ある事実をデータで示したこと。（22年度北大生協調査より）賃貸集合住宅入居者は実質LPガス事業者を選べない実態は、消費者被害にあたるとの訴えが、この間の全国紙での報道や経産大臣発言「LPガスで販売には解決すべき問題点がある」が社会の共通認識になってきていることが大きく影響しました。

また、行政も業界も10年来LPガスの家庭需要・世帯普及率・事業者数が大きく減少している現実を鑑みてこのままではまずい、何とかしなければとの危機意識がありました。

WGでの消費者の取組報告のポイント

（実態は消費者被害）

北海道生協連の川原事務局員も取組報告と商慣行是正に向けた提言を報告しました。報告のポイントは ①LPガスは災害が多く過疎化が進む地域には無くてはならない家庭用エネルギーである事、しかし家庭用エネルギー競争時代に入り「LPガス料金と契約方法」に対して

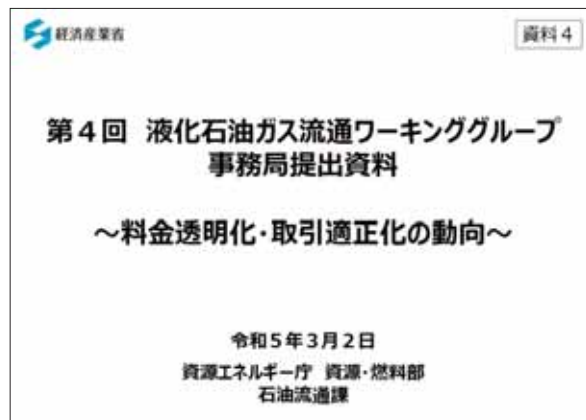
消費者の不信が広がり、LPガス事業の将来に危機意識を持っている事 ②また事業者懇談会（LPガス問題を考える会主催）で出された声「建設事業者・オーナーなどはLPガス事業者を“金づる・打ち出の小槌”と考えている。LPガス事業者は顧客を入居者ではなく、オーナーや管理会社として交渉している。などの生の声を報告し ③LPガス問題の根本原因は「過大投資の強要とその容認」にあると考察していると報告しました。

消費者提言のポイント

（実効性確保に向け、行政・業界・消費者の連携）

前回のWGの教訓から、「実効性確保」の取組が重要で、そのためには、省庁間連携が重要である事を主張し、前回の省令改正とガイドライン制定がなぜ順守させられなかったのか、行政と業界の取組で何が問題だったか対策は何か、対策は消費者も事業者も納得し、守ろうと思える内容になっているのが大切との提言を行いました。

次回WGの開催は5月11日の案内がありました。一回目の問題提起に応える論議が計画されています。引き続き監視活動を続けるとともに、全国消団連と連携しながら、行政・業界への働きかけ、社会・マスコミへの訴えを続けていきます。



大丈夫ですか？どうしましたか？の一言が生きる力に！

こども食堂北海道ネットワーク 事務局長 松本

こども食堂北海道ネットワークも参加して「食支援協会」様のイベント「地域と子ども達の未来を考えると共に行動しましょう！」に参加させて頂きました。道連、中島副会長、平専務にも参加頂き、子ども食堂関係者コープさっぽろ関係者様等、120名前後の沢山の皆さんで貴重な経験をお聴きし活動へのヒントを頂いて参りましたので以下、報告させて頂きます。

第1部 サヘル・ローズ氏 講演会より

イランイラク戦争に巻き込まれ両親とも離別、名前も誕生日もわからない孤児として養護施設で幼少期を過ごされ、養母と出会い、8歳で日本へ渡航し安定した生活と思った矢先の虐待とホームレス状態での少女期の体験！と僅か38年の人生の多くを“壮絶、な環境下で過ごした体験に基づく貴重な気づきを話して頂きました。来日後、養母と二人で経験をしたホームレス状態の公園での生活！その時出会った給食室のおばちゃん、親切な日本人達！この皆さんがいたから今のサヘルがあり、心からの感謝は忘れた事はありません！と辛い話を率直に参加者へ発信されておられました。

校長室で日本語を教えてくれた志木第三小学校の校長先生、教頭先生、スーパーの試食コーナーで優しく接してくれた店員さん！お祈りよりも給食！と学校へ行きなさい！と諭してくれた養母！一つ一つの話が心に刺さる



講演会だったかと思えます。あらためて人種差別問題で大きな役割を發揮されたキング牧師の「世の中で最悪なのは悪人の暴力ではなく善人の沈黙！」であるという言葉の思い起こしながら聴き入ってしまいました。

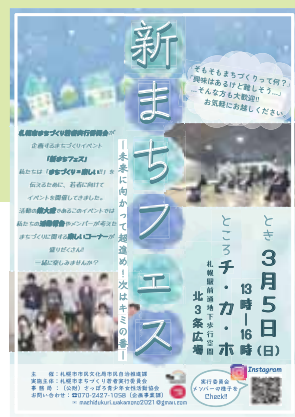


第二部では事業者から提供される食材、飲料の大規模な支援スキーム構築の経験を全国で実践しておられる同協会平野専務のお話、実際に東京都内、関東圏でその物流業務をお手伝いしておられる首都圏物流駒形氏のお話、フードバンクイコロで活動される片岡さんのお話等々に今後の挑戦課題を共感、共有させて頂きました。



札幌市主催「新まちフェス」に参加 ほっかいどう若者応援★ 学生プロジェクト活動報告

日 時：2023年3月5日(日) 13:00～16:00
場 所：北3条交差点広場（チカホ）
主 催：札幌市役所 市民文化局 市民自治推進課
共催実施主体：札幌市まちづくり若者実行委員会
事 務 局：公益財団法人 さっぽろ青少年女性活動協会



毎年、札幌市まちづくり若者実行委員会が、札幌市のまちづくり活動を考えるために、大学生・若者世代が集まる様々なイベント企画運営が開催されています。

2023年3月5日(日)に開催された今年のイベントには、

『ほっかいどう若者応援★学生プロジェクト』も参加させていただき、実際にまちづくり活動をしている学生団体とのトークディスカッションや、団体紹介等ではこども食堂での活動紹介させていただきました。

